



みまっぱ子育て通信 第17号

資料 ②

2025年10月31日

みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行

美作大学／美作大学短期大学部

岡山県津山市北園町 50

TEL 0868-22-7718

<https://mimasaka.jp/>

親子ひろば「めばえ」

今年度、第2回目の親子ひろば「めばえ」です。0～2歳児の子ども達と保護者の方がゆったりと過ごせる少人数制のひろばです。感染予防対策を徹底しながら、地域の子育て広場としての役割を担えるよう、今後も開催を計画しています。どなたでも参加できますので、また是非遊びにいらしてください。

「めばえ」の流れ

10月31日(金)

10:00～11:00

美作大学多目的ホール(本館2F)

10:00～10:40

木の玩具や手作り玩具、おままごと、運動遊び、造形遊びなどで遊ぼう！

10:40～11:00

学生によるお楽しみ

わらべうた・季節のうた・ふれあい遊び

美作大学短期大学部の教員2名が常駐し、子ども達の主体的な遊びを見守り、子どもや子育てに関する相談に応じます。幼児教育学科の学生が「乳児保育Ⅱ」の授業の一環で参加します。

次回「めばえ」開催予定月

2025年12月末頃

場所：美作大学本館多目的ホール
津山市社会福祉協議会様からのメール配信と
本学HPにて日時をお知らせいたします。

はぐくみ

*このコーナーでは大学の教員が、保育の専門的視点から子育てに関するメッセージをお届けします。

親と子どものうた～わらべうた～

わらべうたの歌詞は擬音語や擬態語、オノマトペが多く使われています。そして、これらの言葉のリズムの良さはそのまま身体の動作につながりやすく、動きと音がリズムカルに付随することは子どもにとって聴覚的な刺激ともなります。その結果、わらべうたは乳幼児をリズムへの同期に導く機能を果たしているという報告がなされています(茂野、2019)。

三法令^{註1)}では「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の一つとして「豊かな感性と表現」が挙げられ、「心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる」と述べられています。

わらべうたを使った遊びでは親と子どもが一緒に拍を感じる事ができ、うたに合わせて一緒に手拍子を打つことや身体をゆらすという動作は、音楽的な同期反応を示しているといえます。そして、このような楽しく遊ぶ時間を共有することで、子どもの「豊かな感性と表現」へと繋がっていくことが期待されるでしょう。

参考文献：茂野仁美(2019)乳幼児保育におけるリズムへの同期の発達過程に関する文献研究、大阪総合保育大学紀要第14号、pp.85-96

註1)三法令とは、保育所保育指針解説(2018)厚生労働省 編、幼稚園教育要領解説(2018)文部科学省、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(2018)内閣府・文部科学省・厚生労働省を示す。

美作大学短期大学部 幼児教育学科

講師 鈴木 雪絵

2025年7月30日開催
みまさか子育てカレッジ
親子広場「めばえ」

2025年10月31日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>



子どもたちの遊ぶ姿を想像しながら、学生が様々な遊びコーナーをつくりました。年齢や興味・関心、その時々気分に応じて、一人一人のペースで遊ぶ子どもたちの姿がありました。また玩具を中心に、時間や場所、物を共有しながら緩やかに子ども同士がつながる場面も見られました。



手遊びやパネルシアター、ふれあい遊びを親子で楽しみました。リズムに合わせて動きを真似てみたり、親子で笑い合ったり、パネルに興味津々で近寄ってみたり…穏やかな時間が流れました。